世界遺産登録への道 Vol.3

「市民の手で遺跡を守る ～世界遺産サポーターズクラブ～」

先月号では、コアゾーン（中核地域）の保存だけでなく、それと一体となって形成された周辺（バッファゾーン）景観の保全も必要なことを述べました。

ただ、バッファゾーンとひと口に言っても、その広さは奥州市分だけで1656・8㌶もあり、これらの景観を良好に保っていくことは簡単なことではありません。また、大部分は民有地となっていることから、市民の皆さんとの協働が必要となってきます。

↑地域住民による遺跡周辺地域（白鳥川）の景観維持活動

世界遺産登録推進室が行なっている、住民の皆さんとの〝協働〟の取り組みとして「奥州市世界遺産サポーターズクラブ」の設立が挙げられます。

これは、市がことし1月から3月にかけて開催した、世界遺産ガイド養成講座の受講者に「世界遺産登録を応援する」というサポーター組織の設立を提案し、34人の皆さんからの賛同をいただいたことにより可能になりました。現在、設立世話人と推進室で6月下旬の設立に向けて準備を行っているところです。

サポーターズクラブの活動としては、例えば、地域住民団体と一緒に遺跡周辺の大規模清掃などを行うことや、バッファゾーンの景観保全事業へ参加することなどを予定しています。

推進室では「奥州市世界遺産サポーターズクラブ」の趣旨に賛同し、参加していただける人を随時募集しています。「世界遺産登録を応援したい」人であれば、個人、法人問わずどなたでも歓迎します。応募は、各総合支所総務企画課に備え付けの応募用紙に、必要事項を記入の上提出してください。用紙は市の公式ホームページからもダウンロードすることができます。

世界遺産登録推進に向け、少しでも多くの市民の皆さんの参加をお待ちしています。

来月号では、5月に設立をした「世界遺産ガイドの会」を紹介する予定です。

（文・世界遺産登録推進室）

■問い合わせ

世界遺産登録推進室（前沢総合支所内線313）

命と健康を守る

県立胆沢病院の産婦人科医師不足は、わたしたち市民にとって大きな問題ですが、一方で市の医療充実の取り組みも着実に成果に結びついています。衣川診療所では、6月1日から副所長として松岡康夫医師が着任しました。

小児夜間診療所を開設

市は6月1日、水沢区多賀の水沢医師会館内に小児夜間診療所を開設しました。当面は水沢医師会の医師が当番制で診察に当たります。

開設初日には、同診療所の管理者を務める小見克夫水沢医師会長と相原正明市長が診療所の看板を掲示し、診療を開始しました。この日は早速10人の小児が受診していました。

■診療時間＝午後6時半から9時まで（年中無休）
■場所＝水沢医師会館内（水沢区多賀21－1）
■注意＝必ず保険証を持参してください
■問い合わせ＝㉕3935

産婦人科維持を県へ要望

県立胆沢病院の産婦人科常勤医師が1人になる問題について、相原市長は県医療局の法貴（ほうきたかし）敬局長へ産婦人科維持を求める要望を行いました。

地域の中核病院の産婦人科医師が不足するのは大きな問題であるとして、小沢昌記市議会議長と連名の要望書を手渡し、産婦人科の維持、医師確保などを求めました。

衣川診療所常勤２人体制に

衣川診療所副所長
松岡康夫医師（63）

「このたび衣川診療所に勤務することになりました内科の松岡です。心臓や消化器など臓器別に診療する大病院でばかり仕事をしてきましたが、「臓器にこだわらず全身を診る総合診療」を信条としてきました。専門はリウマチ・膠原（こうげん）病です。膠原病の中で圧倒的に多い関節リウマチの治療法が最近著しく進歩し、早い時期でしたら治癒すら期待できるほどになりました。ぜひご相談ください」

地域安全情報

鍵掛けを習慣付けましょう

©S.MATSUSHITA.ENT.
防犯マスコット『CPくん』

■鍵掛けコンクール実施中

県内17警察署では、犯罪防止を目的に鍵掛けコンクールを実施しています。コンクールは、警察署ごとに発生した住宅侵入盗・乗り物盗・車上狙いの3つの窃盗犯罪について、無施錠率（鍵が掛けられていなかった事例の割合）の低さを競うもので、平成17年度から行われています。

市内でも半数以上の人が鍵を掛けずに被害に遭っており、まだまだ鍵掛けが定着していません。施錠していれば被害に遭わなかったかもしれないのです。鍵掛けは誰にでもできる防犯対策であり、自分の身や財産を守る基本です。鍵掛けの習慣を付けましょう。

問い合わせ…奥州市防犯協会（本庁市民環境企画室内）

平成18年度の無施錠率

	県全体	水沢署管内	江刺署管内
住宅侵入盗	60％	57％	88％
乗り物盗	56％	46％	74％
車上狙い	61％	63％	67％

■ドロボウ予防6ポイント

鍵に関する次の6つのポイントで犯罪を未然に防ぎましょう。

ドロボウ予防の「6（ロック）」ポイント

❶外出するときは、必ず鍵を掛けましょう
❷出入り口や窓は、できるだけ二重に鍵を付けましょう
❸自動車やオートバイから離れるときは、短時間でも必ずエンジンキーを抜き、ドアロックをしましょう
❹自転車はツーロックにしましょう
❺サムターン回し防止用カバーなど侵入防止グッズを活用しましょう
❻錠や鍵は専門店に相談し、特殊用具で開錠されないものを選びましょう

お元気レシピ

地産地消応援メニュー⑮

おからサラダ

材料（4人分）

おから……120g
油……大さじ1
春雨……20g
キュウリ……1本
タマネギ・ニンジン……各10g
ハム……2枚
ツナ缶……小1缶
塩・こしょう……少々
マヨネーズ……40g
レタス……2枚

作り方

①分量の油でおからをよくいため、冷ましておく
②きゅうりは輪切りか半月切り、人参は薄くいちょう切りにし、軽く塩をしてしんなりさせ、絞る。玉ねぎはうすくスライスして水にさらしておく。ハムは短冊切りにする。春雨はゆでて食べやすい大きさに切っておく
③②と油を切ったツナ、マヨネーズを混ぜ合わせ、さらにおからを加えて塩・こしょうで味を整える。

わたしたちが作りました

前沢区食生活改善推進員協議会の皆さん

おからは、アミノ酸バランスの優れたタンパク質が多く、食物繊維も豊富。生活習慣病予防にどうぞ。

おえ気ですか市長です！

奥州市長 相原正明

6月スタート早々、市内5自治区を駆け巡り、大変充実したときを過ごしました。

1日の午後6時15分からは、水沢区多賀の水沢医師会館で市営の小児夜間診療所開所式が行なわれました。

医師会の全面的な協力の下、365日休みなしで、午後6時半から9時まで、子どもの病気やけがに関する初期診療を行います。

3日には、まず、市の西端、胆沢区の焼石連峰つぶ沼登山口付近で、午前7時から山開き行事に参加。終了後すぐに車に飛び乗って、今度は市の東端、江刺区の種山に向かい、午前10時から山頂付近で種山高原山開きに臨みました。

奥州市の広さを満喫する間もなく、今度は前沢区のいきいきスポーツランドに向かい、正午に前沢牛まつり会場で、万余の客に来場御礼のご挨拶（あいさつ）をしました。

4日には衣川区の古戸で、衣川保育所と衣川幼稚園の幼保一体化施設「あゆみ園」の落成式があり、地元木材が多く使用され、木のぬくもり溢（あふ）れる園舎で式辞を述べました。

素晴らしきかな、奥州市！思わず口ずさみました。